

## 經濟學會創立十周年を祝す

經濟學會創立十周年のよき日を迎へんとするにあたつてわれ／＼は心からなる祝意を諸君に送るものである。

現在の重大なる時局の下で、學内に於ける最も活潑な、且つ最も積極的な文化團體たるばかりでなく、更に大學の文化的意義と本質的なつながりを持ち、又持たねばならぬところのわが經濟學會が、今日迎へ得たこの十周年記念こそは單にわれ／＼にとつて喜びであるのみならず立教文化の爲に意義ある祝典といはねばならない。

想へばこの十年の間學會はめまぐるしき社會的變動とともに又それ／＼の時代を積み重ねて來た。昭和四年『純然たる學術研究の團體』を標榜して起つた草創時代、烈しい社會的激動と科學的文化の昂揚の中に、胸を張つて大きく歩み始めたそれに續く最も社會的な實踐的な時代、更に、昭和八、九年を境にして旋回し始めた狀態の中で苦難に屈せず一すぢに眞理を求め、學究的精神の炬を守り續けた苦しい闘ひの時代、また昭和十二年學内に斷行された經濟學部の大改革とそれに引きつゞいた新なる學内の狀態の中に於て學問に對する眞摯な研究の時代等我々は時代の異なるに隨つて、それ／＼の感慨を以つて、十周年の記念すべき日をこゝに迎へるのであるが、そのよろこびは、すべてひとしくたとへ様もなく大きいのである。

時代を異にするに従つて活動の形態は異にするとは云へ、わが經濟學會の目指す大目的は、常に一つであつた。

『正しき理論を把握し……我等の歴史的使命を果し……立教文化の發展過程に於ける一推進力拍車たらんことを期す』と、十年以前に「宣言」されたところは、着々實行され來たつたのであるがその一層の發展こそはまた現在の學會の任務でもある。

異なる時代の風を凌ぎ波頭を乗切る學會員の原律も、<sup>プリンチッ</sup>一つのものが創立以來堅持されて來た。學生の自主性がそれであつ

た。陣痛期の若干の苦痛を嘗めて誕生した學會は當初から經濟科學生全體の嚴格な互選によつて、十五名の委員を選び、委員は何ものにも捉はれるところのない自由さを以つて學生の意見を率直に代表して來た。しかもその自主的精神は偏狹に自己の殻の中に閉ぢ籠もるものではなく、潤達な心と、優れた見透しによつて、素直に他の忠言を受け入れることが出來た。

この自主的精神は、それが全學生の意見を背景としてはじめて、存在するものであるから、委員とそれを選出せる學生層との間の連繋が最も緊密であるとき最もよく發揮されたのは當然であつた。經濟學會がその最も重要な任務の一つである研究會に於て、獨善的街學的な「理論」の遊戲を棄て現實を直視し、それに對して眞摯な眼を向けると同時に、眞の學究的精神確立への困難な道に向つて拂つた努力こそは、全會員と、委員との不可分の結合をます／＼強固にし、學會の發展の爲の大きな推進力であつた。

更に、最近に於て會誌の外にリーフレットが發刊され、學生々活調査が行はれる等々の種々なる創意が生かされたのはその成果を一層大にするものであつた。

最近學會の環境は殊に有利である。有能な委員諸君の周圍には厚意的な諸教授の斡旋があり、また昭和十二年の春には經濟學會委員たりし卒業生によつて經人會が組織され、經濟學會と兄弟の關係に立つて背後より學會を支援することになつた。

この秋に當り、學會は十周年の記念すべき日を迎へ、その傳統的精神と、十年の歲月に蓄積された豊富な經驗を以て更に新しい第一歩を踏み出さんとしてゐる。地形は有利であるが、責務は重い。

この光輝あり希望に満てる前途にあたりわれ／＼の祝福を受けつゝ諸君の決心を新にせられよ。學會の前途は、洋く諸君の前に展げてゐるのである。

昭和十四年十月十六日